

『ケータイ白書 2006』最新調査結果に見る ケータイ市場の現在

携帯電話市場は3G 端末やパケット定額制サービスの普及が本格的なものとなり、2006年には新規通信事業者の参入や番号ポータビリティの開始でより多くの変革が起こることは確実である。『ケータイ白書 2006』(モバイル・コンテンツ・フォーラム監修、インプレス発行)から最新調査結果をお伝えし、携帯電話市場の現状と今後の動きを見ていく。

調査対象: インターネット機能が付いている携帯電話を利用している男女個人

調査手法: 携帯電話によるインターネット調査/調査期間: 2005年9月12日~18日



3G や定額制の影響を受けたアクティブユーザーの調査データ 268 点を掲載するほか、新規参入、MVNO、番号ポータビリティ、モバイルトリプルプレイ、WiMAX、FMC、音声定額、ケータイクレジットなど携帯業界の動向を網羅。

2006年5月に3Gは5千万人を突破

普及予測

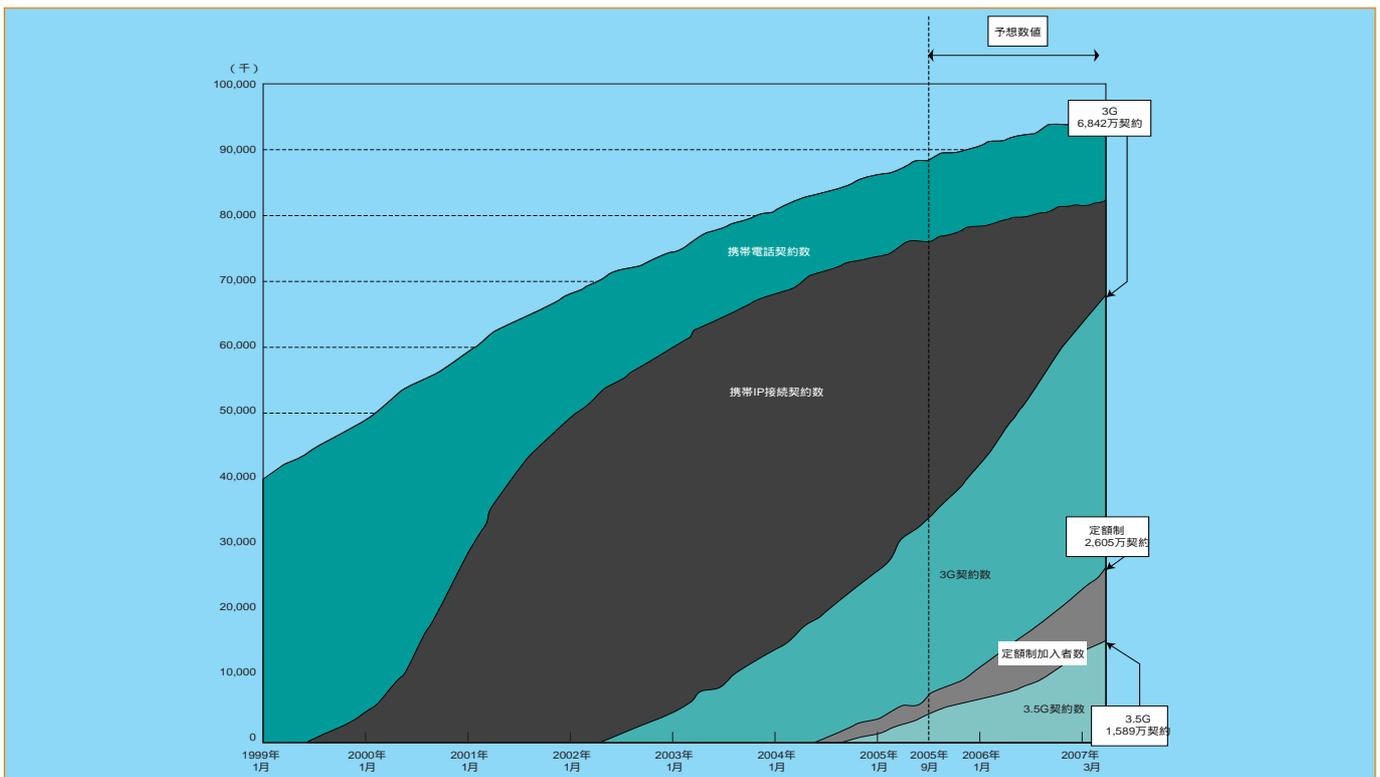


図1 携帯電話の加入者数と3G、3.5G、定額制の契約数推移予測

©Impress/Mobile Content Forum,2005-2006

モバイル・コンテンツ・フォーラムの普及予測では、2006年5月までに3Gは5千万契約を突破する。さらに、2007年の3月までには6,842万契約となり、携帯電話契約の74%を占めるようになる。また、定額制に関して、2007年3月には2,605

万契約にまで上り、28%を占めることとなる。KDDIのWIN 端末に加え、2006年にはドコモからHSDPA対応端末の発売が予定されており、3.5Gは2007年3月には1,589万契約となり、2008年の初頭には普及期に入っていく。定額制や

3G・3.5Gの普及はユーザーの利用状況やビジネスモデルにまで影響を及ぼしていくと見られている。以下のデータは3G6割、定額制4割のケータイアクティブユーザーに聞いたもので、それらを顕著に反映したものとなっている。

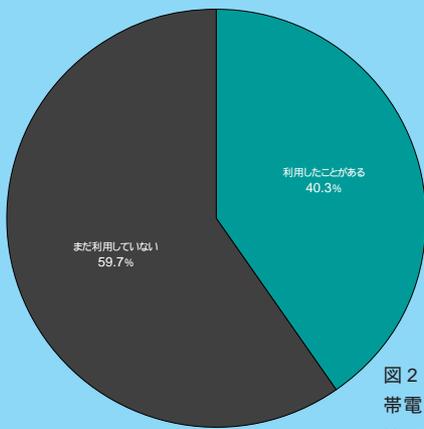


図2 フルブラウザ機能付き携帯電話保有者における利用状況
N=325

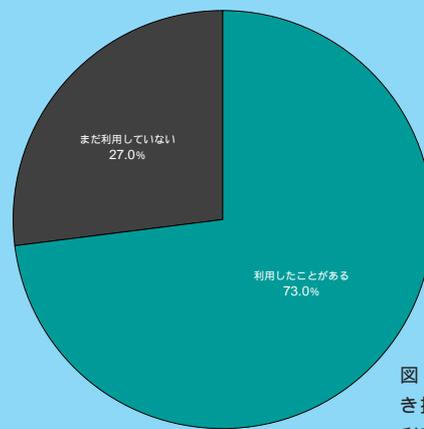


図3 FMラジオ受信機能付き携帯電話保有者における利用状況 N=152

図4 QRコード読み取り機能付き携帯電話保有者における利用状況 [2004年-2005年]

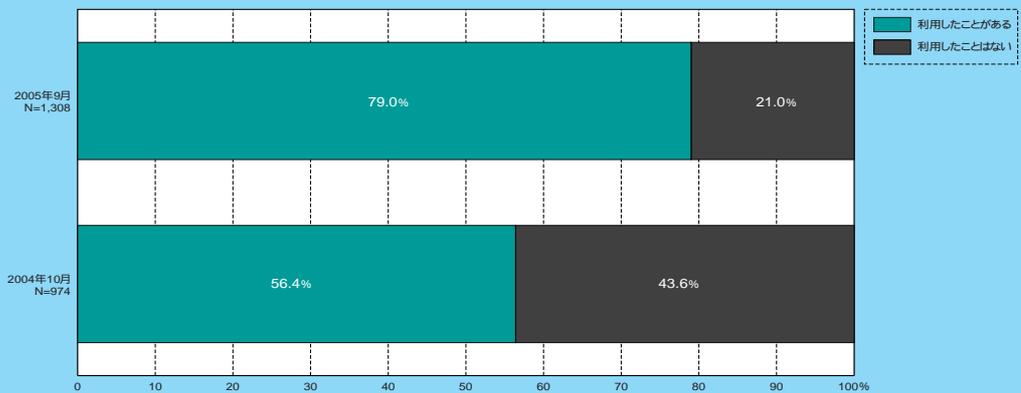
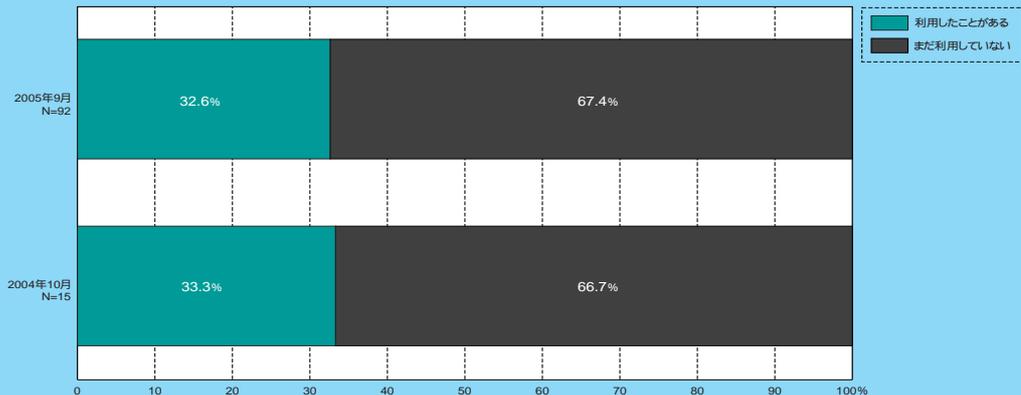


図5 フェリカ機能付き携帯電話保有者における利用状況 [2004年-2005年]



©Impress/Mobile Content Forum,2005-2006

対応機種保有者における各種機能の利用状況を見ていくと、フルブラウザの利用経験は40.3%であった。フルブラウザはパケット定額制サービス適用外のキャリアもあり、ヘビーユーザーがいる一方で、データ通信料がかかることが足かせになっていると見られる。認知者

の保有率が12.4%にすぎないFMラジオ受信機能の利用率は73.0%と高くなっている。QRコード機能とフェリカ機能の利用状況を2004年との比較で見たと、QRコードは2004年に比べて22.6ポイントも上昇し、利用率は急速に高まっている。一方、フェリカは対応キャリアも増え

て(調査時点ではドコモとauのみ発売)搭載機種が拡大し、保有率は上昇した。しかし、利用シーンが少ないため、保有者における利用率は33%と横ばいとなっている。今後、モバイルフェリカ搭載機種の拡大やケータイクレジットの普及がかぎを握るだろう。

図6 着うたフル機能付き携帯電話保有者における利用状況
N=285

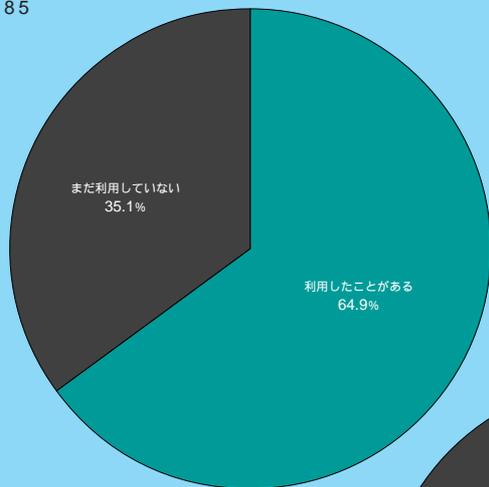


図7 動画ダウンロード機能付き携帯電話保有者における利用状況
N=1,048

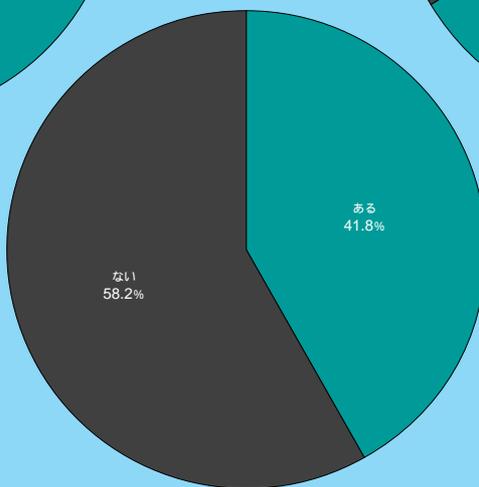
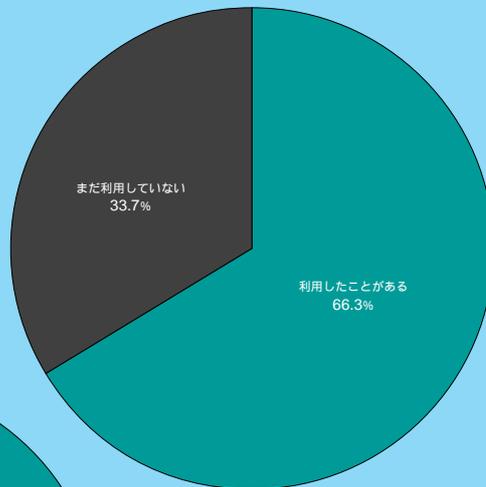
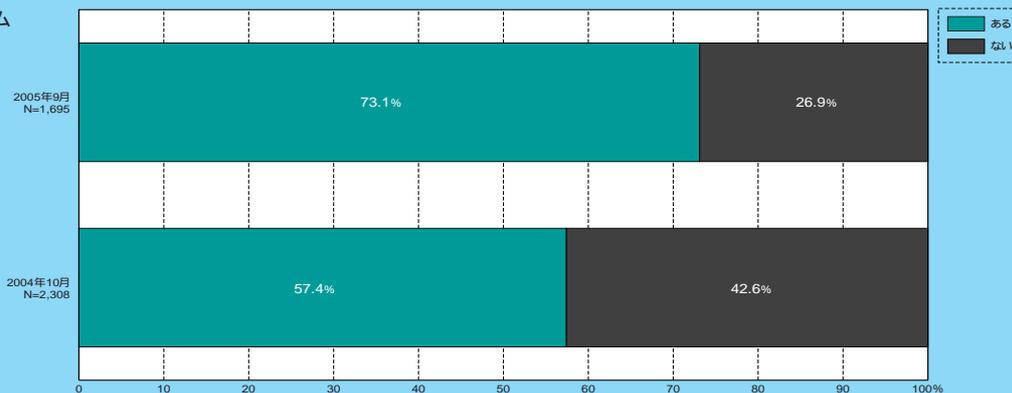


図8 認知者における携帯電話での電子書籍利用経験
N=1,009

図9 携帯電話でのゲームダウンロード経験
[2004年-2005年]



©impress/Mobile Content Forum,2005-2006

対応機種保有者における各種サービスの利用状況を見ていくと、着うたフルは64.9%と比較的高くなっている。動画ダウンロード機能の利用状況は66.3%で、10~30代の利用が中心となっている。月に4個以下のダウンロードが7割を占める一方、20個以上ダウンロードするヘビー

ユーザーも1割以上存在している。電子書籍の利用経験がある人は41.8%で、その中でも10代女性65.2%、10代男性63.0%と若年層の利用が高い。ゲームダウンロード経験は2004年から15.7ポイント上昇と他機能に比べて大きく伸びており、その背景にはアプリの高機能化と、

パケット定額サービスの普及がある。その一方で、利用頻度の高いユーザーの割合が減少していることから、ライトユーザーが拡大していると見られる。急速に伸びている着うたフルは、これまでの着信音ビジネスと違い、音楽配信そのものであり、今後 iPod との競合が注目される。

図10 ブックマーク(お気に入り)に登録している携帯電話サイトの数

[パケット定額加入者と非加入者別]

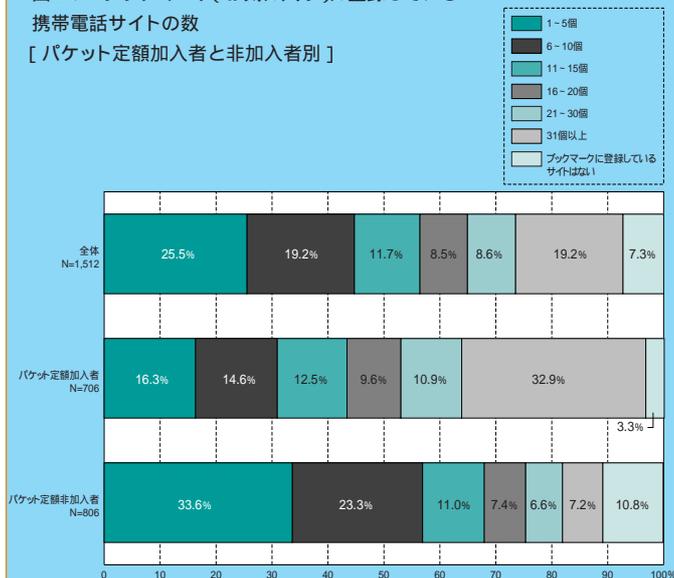


表1 ブックマーク(お気に入り)に登録している携帯電話サイトランキングトップ20[2004年-2005年]

順位	サイト名	2005年9月 N=1,402	2004年10月 N=1,748	2004年10月 順位
1	Yahoo!	22.2%	18.4%	1
2	AD乗換案内	14.1%	14.0%	2
3	楽天	3.9%	2.8%	4
4	TSUTAYA online	3.4%	2.7%	5
5	The News	3.0%	2.3%	7
6	2ちゃんねる	2.6%	-	-
7	お財布.com	2.5%	-	-
8	料金案内	2.4%	3.0%	3
9	Mobile NetMile	2.3%	1.8%	11
10	ウェザーニュース	2.1%	-	-
11	いろメロミックス	1.9%	1.9%	10
12	JRA-IPAT	1.8%	2.6%	6
13	モバオク	1.7%	-	-
13	Google	1.7%	-	-
15	DoCoMo Net	1.6%	-	-
16	ディズニー	1.5%	2.1%	9
16	JRおでかけネット	1.5%	-	-
18	iタウンページ	1.4%	1.1%	20
19	ジャニーズWeb	1.4%	-	-
19	朝日・日刊スポーツ	1.4%	1.3%	16
19	ぐるなび	1.4%	-	-

-はランキング外

表2 ブックマーク(お気に入り)に登録している携帯電話サイトランキングトップ20 [パケット定額加入者と非加入者別]

パケット定額加入者 N=683

順位	サイト名	件数	%
1	Yahoo!	159	23.3%
2	AD乗換案内	77	11.3%
3	楽天	36	5.3%
4	お財布.com	29	4.2%
5	2ちゃんねる	27	4.0%
6	The News	23	3.4%
7	Mobile NetMile	22	3.2%
8	モバオク	21	3.1%
9	TSUTAYA online	20	2.9%
10	auオークション	17	2.5%
11	ウェザーニュース	15	2.2%
11	Google	15	2.2%
13	ジャニーズWeb	14	2.0%
13	NewsCafe	14	2.0%
15	いろメロミックス	13	1.9%
15	レコード会社直営	13	1.9%
15	アマゾン	13	1.9%
18	ガールズショッピング	12	1.8%
19	天気Plus	10	1.5%
19	アプリ ゲット	10	1.5%

パケット定額非加入者 N=719

順位	サイト名	件数	%
1	Yahoo!	152	21.1%
2	AD乗換案内	121	16.8%
3	TSUTAYA online	28	3.9%
4	料金案内	25	3.5%
5	楽天	19	2.6%
5	The News	19	2.6%
6	JRA-IPAT	17	2.4%
6	JRおでかけネット	17	2.4%
9	DoCoMo Net	15	2.1%
9	ディズニー	15	2.1%
11	いろメロミックス	14	1.9%
12	朝日・日刊スポーツ	13	1.8%
12	めちゃメロ無期限	13	1.8%
14	ウェザーニュース	12	1.7%
14	iタウンページ	12	1.7%
16	ぐるなび	11	1.5%
16	SANKYO FEVER	11	1.5%
18	Mobile NetMile	10	1.4%
18	イーバンク	10	1.4%
18	ポケメロ JOYSOUND	10	1.4%

ブックマークに登録している携帯電話サイトの数をパケット定額加入別に見ると、加入者では31個以上登録しているヘビーユーザーが32.9%を占めている一方、非加入者では10個以下の登録が56.9%であった。登録しているサイトを自由に3つまで回答してもらったところ、

2位の「AD乗換案内」に昨年よりも差をつけて「Yahoo!」が22.2%で1位となった。昨年と異なる点は、「2ちゃんねる」(20代女性では3位にランクイン)、「Google」、「ぐるなび」などPCインターネットで人気のあるサイトがランクインをはたしたことである。パケット定額加入

別に見ると、加入者のほうでは「楽天」や「アマゾン」、「モバオク」といったショッピングやオークションサイトが上位にランクインしている。携帯電話サイトはキャリアの公式メニューに依存しない非公式サイトが増え、PCインターネットとの融合が進んでいる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp